

8 福薬業発第 8 3 号
令和 8 年 5 月 2 2 日

各地区薬剤師会会長 殿

公益社団法人 福岡県薬剤師会
常務理事 濱 寛

「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業」実施に係る協力について

平素より本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、福岡県後期高齢者医療広域連合より標記事業について協力依頼がありましたのでお知らせいたします。

本事業は令和 2 年度開始後から徐々に拡大され、令和 6 年度より県内全市町村で実施されております。

つきましては下記のとおり、本事業の会員への周知並びに市町村・関係団体等より地区薬剤師会へ具体的な相談があった際には、ご対応いただきますようお願い申し上げます。

ご多忙中のところ大変恐縮ですが、ご理解ご協力のほどよろしく願いいたします。

記

1 事業概要

別紙 1 のとおり

2 市町村における取組状況

別紙 2 : 令和 7 年度の実施状況

3 依頼内容

① 事業実施市町村の取組への助言や連携（市町村から相談があった場合）

- ・事業の企画や評価等、事業全体に対する助言
- ・事業対象者の抽出基準や効果的な実施内容等に関する助言

（主に服薬等に関する取組）

② 個別ケース支援にかかる、保健指導への助言、「適正服薬推進事業」との協働等

以 上

8 福高医健第 2 4 号
令和 8 年 5 月 20 日

公益社団法人福岡県薬剤師会
会長 小田 真稔 様

福岡県後期高齢者医療広域連合
広域連合長 福田 浩



「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業」実施に係る協力について（依頼）

平素より当広域連合の事業に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。
さて、当広域連合では、効果的かつ効率的な保健事業を実施することにより、被保険者の健康の保持増進を図るため、令和 2 年度から標記事業を実施しているところです。
つきましては、下記のとおり、貴会員への周知及び各市町村等から各地区薬剤師会に対して相談があった際の対応・協力等について、御高配のほどよろしくお願い申し上げます。

記

- 1 事業概要
別紙 1 のとおり
- 2 市町村における取組状況
別紙 2 のとおり
- 3 依頼内容
 - ① 貴会員への「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業」の周知
 - ② 事業実施市町村の取組みへの助言や連携（市町村から相談があった場合）
 - ・事業の企画や評価等、事業全体に対する助言
 - ・事業対象者の抽出基準や効果的な実施内容等に関する助言
 - ③ 個別ケース支援にかかる、保健指導への助言、「適正服薬推進事業」との協働 等

《お問合せ先》

〒 8 1 2 - 0 0 4 4

福岡県福岡市博多区千代四丁目 1 - 2 7

福岡県自治会館 5 階

福岡県後期高齢者医療広域連合

健康企画課健康企画係 山本・大野・河野

電話 0 9 2 - 7 0 7 - 3 0 2 9

FAX 0 9 2 - 6 5 1 - 3 1 2 0

メール tekisei@fukuoka-kouki.jp

【事業目的】

市町村の国保部署と介護部署等が連携し、保健指導等の保健事業と通いの場等の介護予防を一体的に実施することで、高齢者の心身の多様な課題に対応したきめ細やかな支援を行うもの。

(令和2年度事業開始)

【事業内容】

①高齢者に対する個別支援（ハイリスクアプローチ）

ア 低栄養防止・重症化予防の取組

(a)低栄養に関わる相談・指導

(b)口腔に関わる相談・指導

(c)身体的フレイルに関わる相談・指導

(d)生活習慣病等の重症化予防に関わる相談・指導

イ 重複投薬・多剤投与等への相談・指導の取組

ウ 健康状態が不明な高齢者の状態把握、必要なサービスへの接続

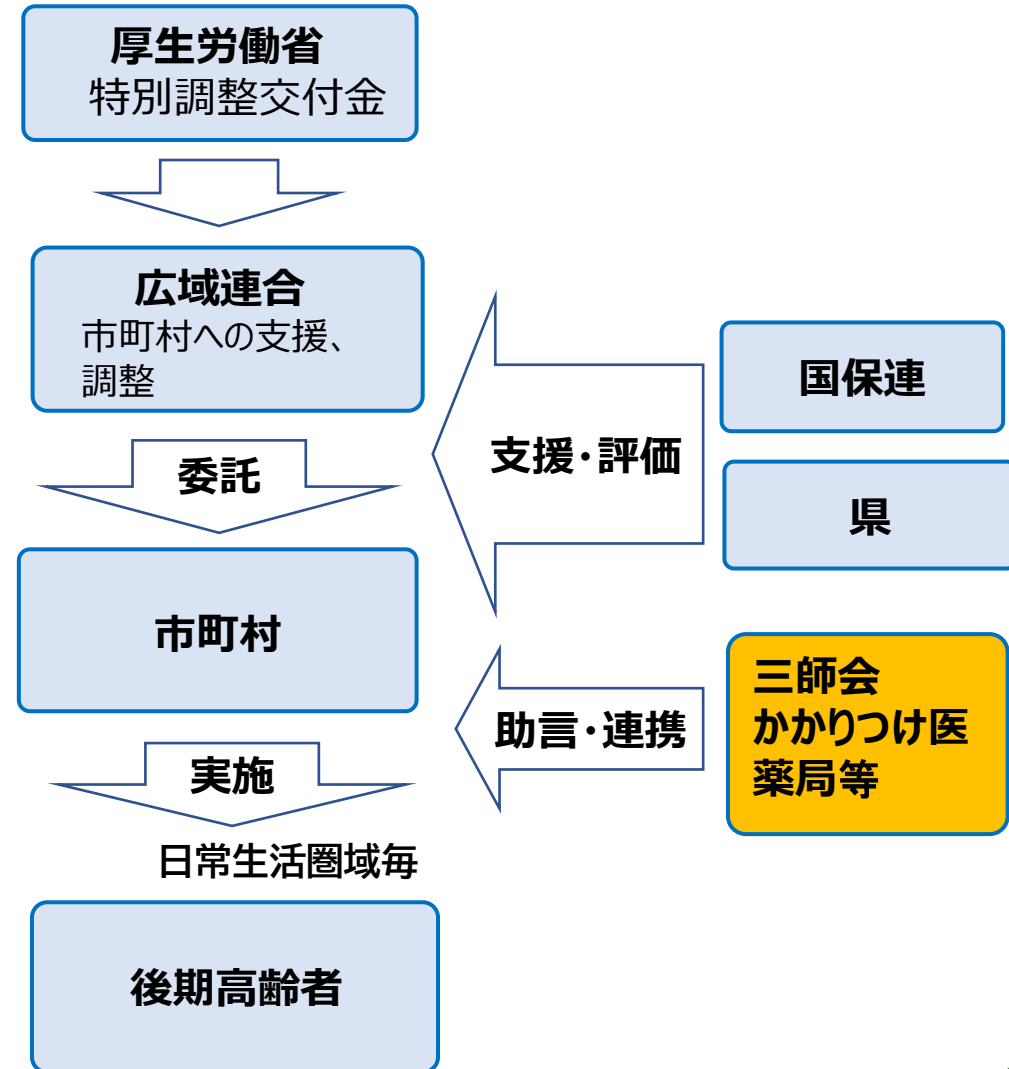
②通いの場等への積極的な関与（ポピュレーションアプローチ）

ア フレイル予防の普及啓発、運動・栄養・口腔等の健康教育・健康相談

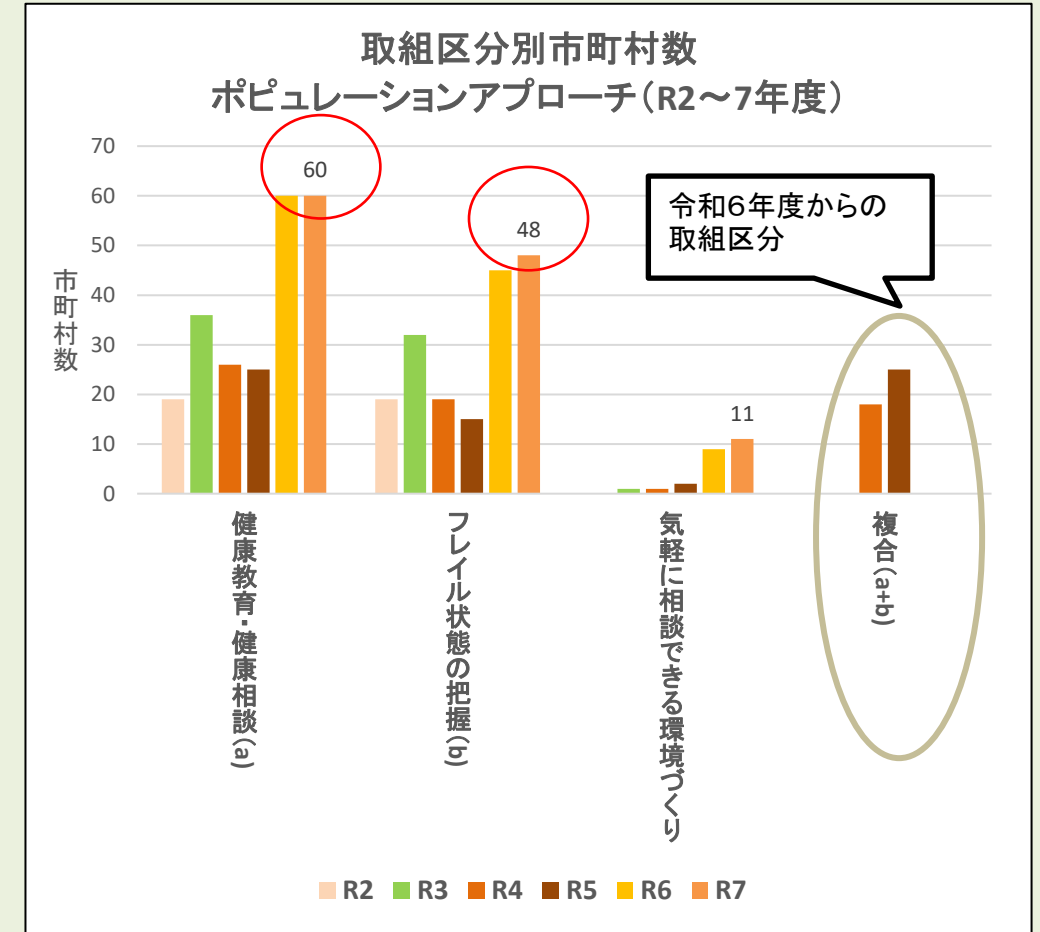
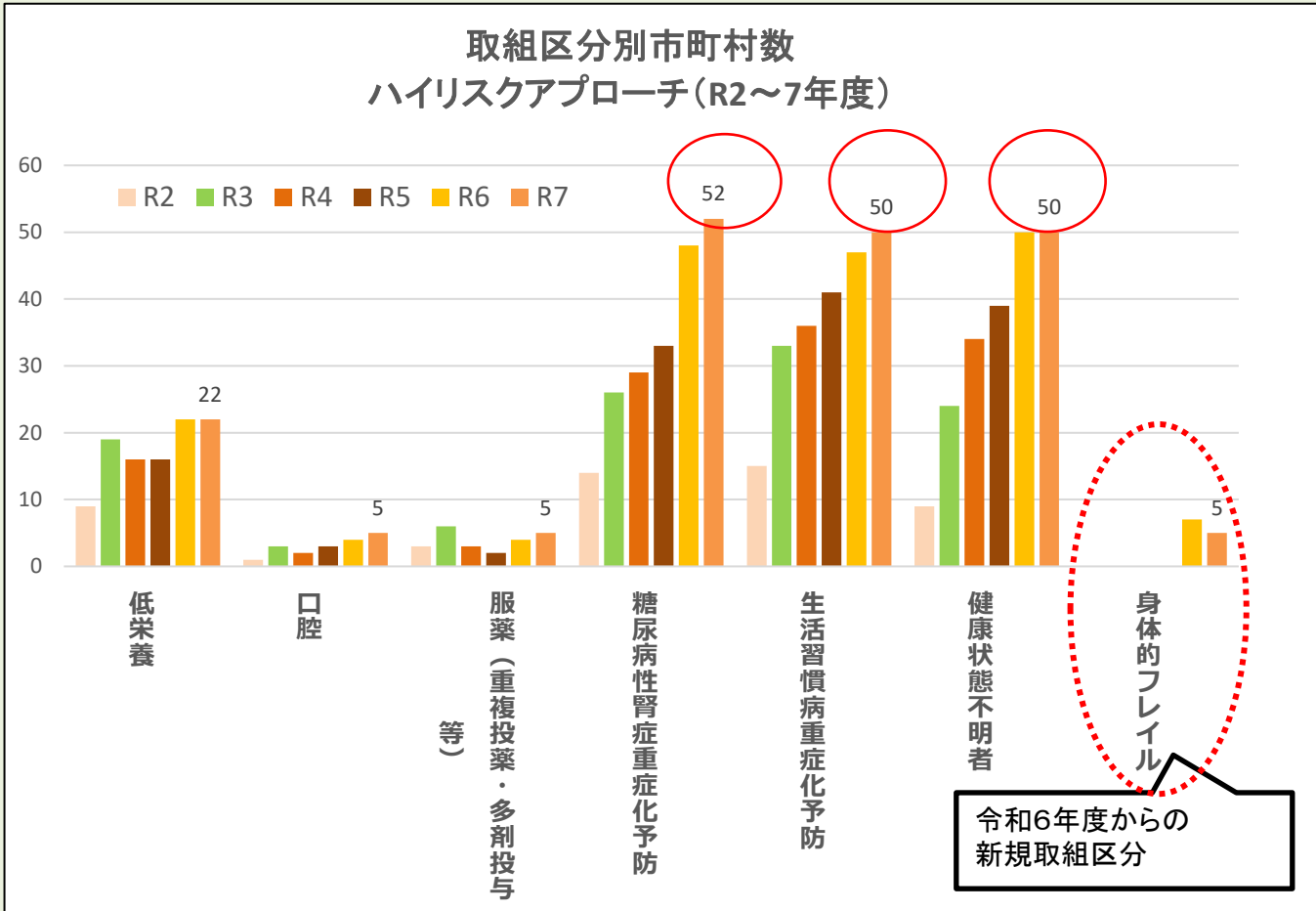
イ フレイル状態にある高齢者等を把握し、保健指導等の実施

ウ 気軽に相談が行える環境づくり

【実施体制】



	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
実施市町村数	19	37	44	50	60	60



令和7年度は8割以上の市町村が、「健康状態不明者対応」「糖尿病性腎症/生活習慣病の重症化予防」に取り組んでいる。

令和7年度は全市町村が「健康教育・健康相談」、8割の市町村が、「フレイル状態の把握」を実施している。

(1) マンパワー不足、高齢者の特性に応じた保健事業のノウハウが少ない。

⇒ 効果的な保健事業実践にむけた市町村支援

- 地域の健康課題に応じた事業計画や事業評価の実施、保健指導のスキルアップを図るため、担当者会議及び研修会・研究会等を実施。
- 関係機関（県本庁、保健所、九州厚生局、国保連等）との連携を図り、各関係部署の支援情報や役割を明らかにし、支援体制の充実を図っていく。

(2) 高齢者の保健事業に対するかかりつけ医や医療関係団体の理解と協力が必要

⇒ 医療関係団体との連携の推進

9割以上が医療機関受診中の高齢者の問題意識や理解力に応じた効果的な保健指導や介護予防について、かかりつけ医、三師会等と地域課題を共有し、効果的な支援方法について検討する。

(3) 高齢者の健康意識の醸成と環境づくりが必要

⇒ ポピュレーションアプローチの推進

高齢者と地域課題を共有し、住民が自ら担い手となって積極的に運動や栄養等の健康行動に取り組める環境づくりや加齢だからとあきらめない健康意識の醸成を行い、長期にわたり定着した生活習慣を改善・維持し、地域全体のフレイル対策、健康寿命の延伸に繋げていくための取組みを進める。

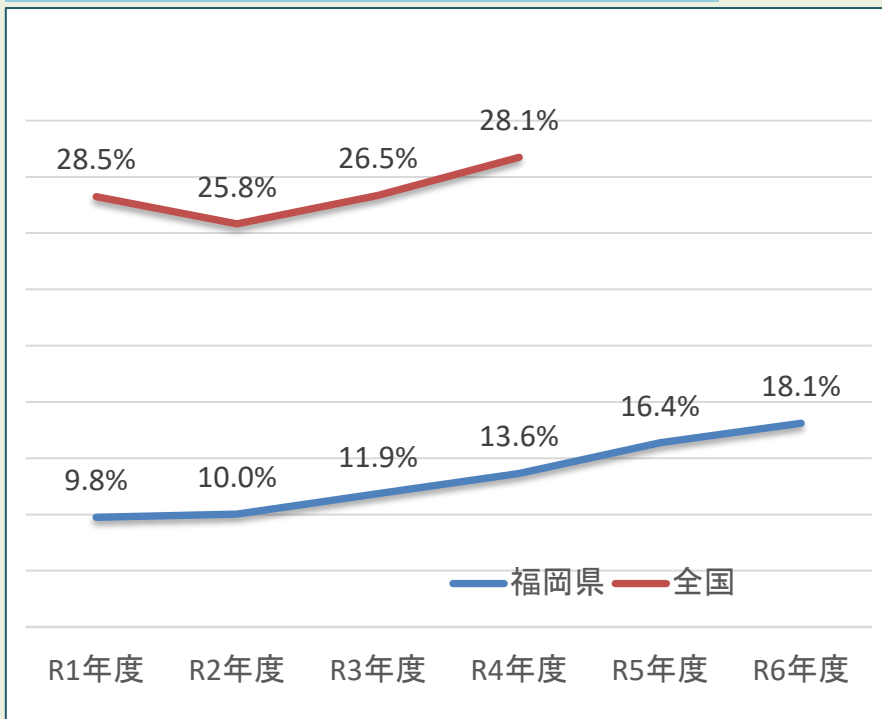
(4) ハイリスク者を抽出する健診受診率が低い

⇒ 健康診査の受診率の向上

生活習慣病重症化やフレイル予防につながる健康診査の受診率が他の広域連合と比較して大変低い。そのため、R6年度からの「みなし健診（医療機関からの情報提供）」R7年度からの「受診勧奨通知」に続き、効果的かつ効率的な健診のあり方を検討していく。

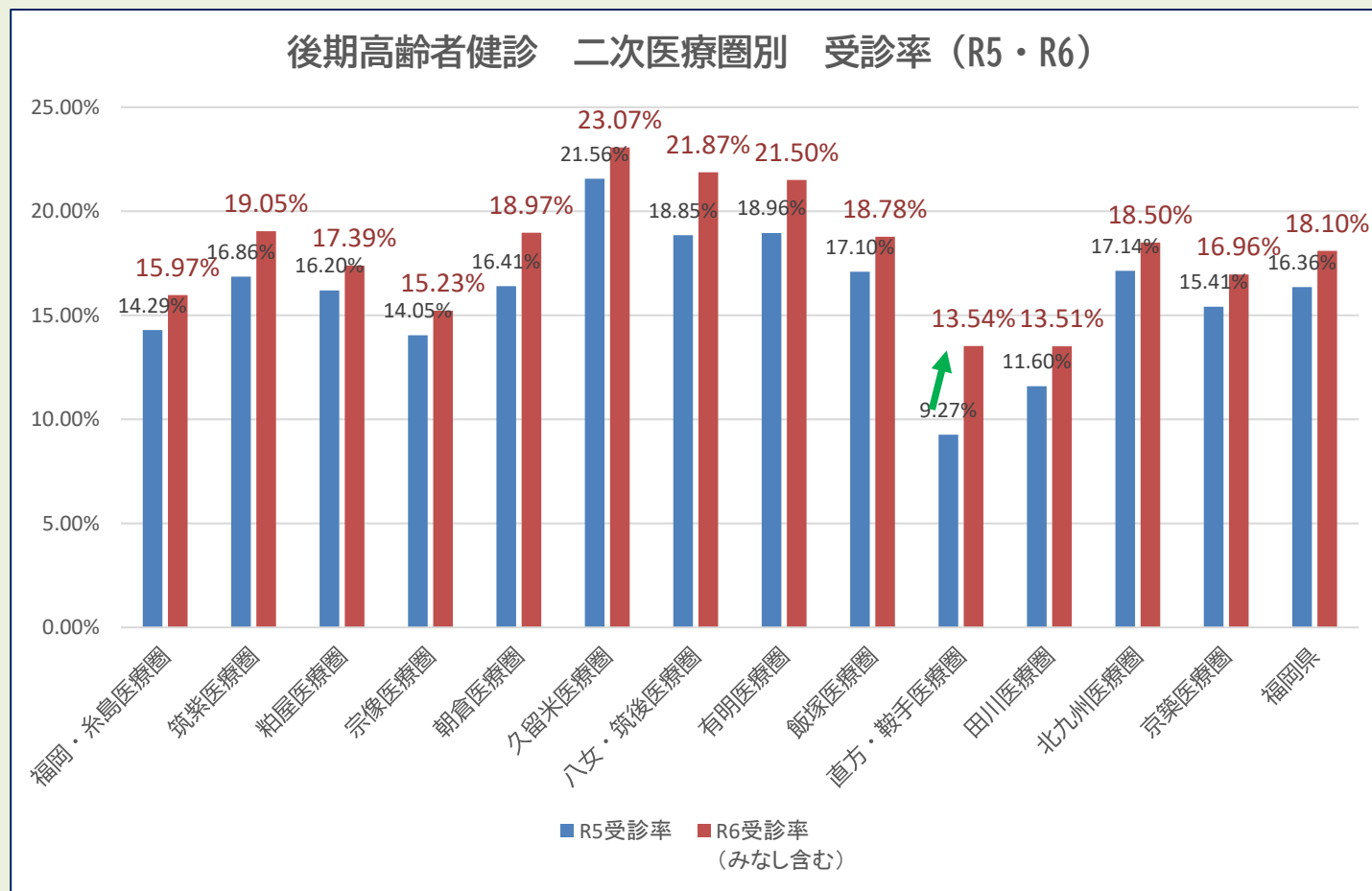
参考1 健診受診率

後期高齢者 健診受診率の推移



福岡県の受診率

※国保連における健診機関からの該当年度5月分～翌年4月分請求データを基に作成。
 ※H31年度（R1年度）より、生活習慣病で治療中の方も健康診査の対象者に追加。
 ※R6年度から健診受診率の算出方法が全国共通となり、分母から対象外被保険者数を除く。全被保険者数：733,673人（R5.3.31）の約4.0%が対象外として計算。
 ※R6年度からはみなし健診も含む。



- ・健診受診率は、年々増加しているが、全国平均に比べると低く推移している。
- ・医療圏別にみると田川医療圏13.51%、直方・鞍手13.54%と低く、久留米が23.07%で最も高くなっている。
- ・令和5年度に一番受診率が低かった直方・鞍手医療圏は、R6年度は13.54%で大きく伸びている。

参考2 これまでの一体的実施の効果検証からわかってきたこと

分析結果のまとめ ①

厚生労働省
第20回 高齢者の保健事業のあり方検討ワーキンググループ資料より

【質問票】

- 後期高齢者の質問票4点以上では、年齢等を調整しても要介護の新規認定者が多く（2.9倍）、併存疾患が重なっている場合に最も高いハザード比（6.6倍）であった。

【低栄養】

- 「低栄養」に、口腔・身体的フレイル・重症化予防該当が共存する場合に要介護リスクが高まった。PAFについては、曝露因子2個保有が8.09%で最も高値であった。
- 栄養プログラムの実施により参加者において「むせ」「体重減少」の改善傾向を認めた。

【口腔】

- 口腔該当者では、入院を含む医療費（医科、歯科、調剤）が高かったが、外来のみの医療費は低かった。
- 自治体レベルでは介入率が高い自治体では歯科受診率の向上や口腔項目の改善が観察された。

参考2 これまでの一体的実施の効果検証からわかってきたこと

分析結果のまとめ ②

厚生労働省
第20回 高齢者の保健事業のあり方検討ワーキンググループ資料より

【服薬】

- 骨折の既往がない後期高齢者を対象とした分析において、睡眠薬の処方がある者でかつ過去1年の転倒歴を有する者では骨折の発生リスクが有意に高かった。

【身体的フレイル】

- 後期高齢者におけるフレイルの社会的側面は、総合的な健康状態・フレイル傾向と併存しやすく、新規要介護認定リスクと有意に関連していた（別添10）。

【重症化予防】

- 糖尿病もしくは高血圧とフレイルが併存している場合に2年後の要介護リスクが高く、特に75～84歳において強い関連が認められた。糖尿病もしくは高血圧と低BMIの合併があると、リスクが有意に上昇した。BMIが25以上の群では、新規要介護認定リスクの上昇は限定的であった。

【健康状態不明者】

- R2年度健康状態不明状況とR3～4年度の新規要介護認定の関連を検討した結果、健康状態不明者の後年の要介護新規認定発生リスクは年代、性別どの群においても高かった。

令和7年度「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業」の実施状況

別紙2

市町村名	所属	ハイリスクアプローチ						ホビュレーションアプローチ									
		低栄養	口腔	服薬（重複投薬・多剤投与等）	身体的フレイル	重症化予防（糖尿病性腎症）	重症化予防（その他生活習慣病）	健康状態不明者対策	健康教育・健康相談						フレイル状態の把握	気軽に相談できる環境づくり	
									健康教育・健康相談	（栄養）	（口腔）	（フレイル）	（重症化予防）	（重複投薬、多剤投薬等）			（その他）
1	北九州市																
2	福岡市	○															
3	大牟田市				○												
4	久留米市	○															
5	直方市																
6	飯塚市																
7	田川市				○												
8	柳川市																
9	八女市	○															
10	筑後市	○															
11	大川市																
12	行橋市																
13	豊前市	○															
14	中間市																
15	小郡市																
16	筑紫野市	○		○													
17	春日市																
18	大野城市	○	○	○													
19	宗像市	○	○														
20	太宰府市	○	○	○													
21	古賀市																
22	福津市	○															
23	うきは市																
24	宮若市	○			○												
25	嘉麻市	○															
26	朝倉市	○															
27	みやま市	○															
28	糸島市	○	○		○												
29	那珂川市	○		○													
30	宇美町			○													
31	篠栗町																
32	志免町	○															
33	須恵町																
34	新宮町																
35	久山町	○															
36	粕屋町																
37	芦屋町																
38	水巻町	○															
39	岡垣町		○														
40	遠賀町	○															
41	小竹町																
42	鞍手町																
43	桂川町																
44	筑前町																
45	東峰村																
46	大刀洗町																
47	大木町				○												
48	広川町																
49	香春町				○												
50	添田町																
51	糸田町																
52	川崎町																
53	大任町																
54	赤村	○															
55	福智町	○															
56	苅田町																
57	みやこ町																
58	吉富町																
59	上毛町	○															
60	築上町																
		23	5	5	6	52	50	51	60	49	46	57	26	10	8	48	12

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（医師会・主治医の先生方へお願いしたい内容）①②③

健診・医療・介護データ等から地域の課題を分析し、事業を企画・評価

① 課題の分析や、企画・評価等、事業全体に対する助言

市町村で一体的に実施

保健事業

介護予防事業

② 事業対象者の抽出基準や、効果的な実施内容に関する助言

ハイリスクアプローチ

疾病予防・重症化予防
健康状態不明な高齢者への支援 など

企画調整担当
保健師が
コーディネート



ポピュレーションアプローチ

フレイル予防の普及啓発
通いの場等での健康教育・健康相談 など

かかりつけ医との連携

③ ○個別支援にかかる、かかりつけ医からの指示や助言
○かかりつけ医から、患者へ通いの場等への参加勧奨 など



後期高齢者健康診査のご案内

健康診査は1年に1回、からだをチェックする機会です。
生活習慣病を予防し、フレイル（加齢により心や身体が弱り
要介護に近づいてしまう状態）の芽をつみとりましょう。



実際に健康診査を受診された方の声です

健康診査受診後に保健師の家庭訪問で医療機関の受診をすすめられ、夫はすぐに近くの循環器科の診療所を受診しました。そこで、大きな病院を紹介され、手術を受けることになりました。あの時、受診を勧めてもらったので、早く対応できて元気に過ごしています！
(80代男性のご家族から)



もともと食が細くやせていたので、健康診査受診後に栄養士さんの家庭訪問がありました。間食に卵が使われているものを選ぶとたんぱく質がとれると聞きました。
栄養って難しいものだと思っていたけど、簡単にできる方法を教えてもらってよかったです。
(80代女性から)



通常約 9,000 円の検査が
500 円で受診できます！

健康診査を受けるには

- ※ 健康診査を受診する時は、(1)マイナ保険証等（有効期限内のもの）、資格確認書 (2)受診票 (3)500円 が必要です。まずは、かかりつけ医にご相談ください。
- ※ 健康診査の受診票は、福岡県後期高齢者医療広域連合から送付しております。（長期入院及び一部の施設入所中の方は除きます。）

【問合せ先】 福岡県後期高齢者医療広域連合 お問い合わせセンター
福岡市博多区千代4丁目1番27号 TEL 092-651-3111

健康診査でわかること



項目	ポイント
問診	「後期高齢者の質問票」 質問票でフレイルの危険性を確認できます。
身長・体重	「肥満より、やせに注意」 やせはフレイルをまねきます。
栄養・貧血 ●血清アルブミン ●ヘマクリット値 ●血色素量 ●赤血球数	「低栄養や貧血に注意」 低栄養や貧血は、身体的活動を低下させ、認知機能の低下や骨粗しょう症のリスクが高まります。
血圧・脂質 ●コレステロール ●中性脂肪	「脳卒中や心筋梗塞の危険性」 高血圧や脂質異常は動脈硬化につながり、脳卒中や心筋梗塞などをまねきます。
糖 ●空腹時 ●HbA1c ●尿糖	「糖尿病の重症化に注意」 糖尿病の危険度を調べます。 血糖が高いと糖尿病のおそれがあります。
肝機能 ●AST (GOT) ●ALT (GPT) ●γ-GT (γ-GTP)	「お酒だけでなく、薬の副作用の可能性も」 肝臓の機能をチェックします。たくさんの薬の服薬による副作用で、肝臓に負担がかかります。飲酒しない人も注意が必要です。
腎機能 ●クレアチニン値 ●尿蛋白 ●尿酸	「最悪の場合、人工透析に」 腎臓の機能をチェックします。 糖尿病や高血圧の人は特に注意が必要です。

後期高齢者健康診査では、フレイルリスクを確認できます。

チェックしてみましょう

<input type="checkbox"/>	6ヶ月間で、2～3Kg以上の体重減少がありましたか
<input type="checkbox"/>	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか
<input type="checkbox"/>	この1年間に転んだことがありますか
<input type="checkbox"/>	ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか
<input type="checkbox"/>	週に1回以上は外出していますか

フレイルに関する項目です。
フレイルの可能性のある人も早期に対応することで、元の状態に戻れます。

「後期高齢者健康診査質問票」より一部抜粋

※ 必要時にはかかりつけ医の指示のもと、市町村の保健師や栄養士による保健指導やフレイルの相談を受けることができます。

